

「全力で走り切る」

全国高校駅伝 初出場の田辺工業男子の部

京都市で12月23日に開かれる「全国高校駅伝競走大会」男子の部に初出場する田辺工業の陸上競技部が11月29日、和歌山市であった結団壮行式に出席。都築勇貴主将(3年)は「全国の舞台でも全力で走り切る」と力強く決意を述べた。壮行式は県教育委員会と県高校体育連盟が主催。田辺工業のほか全国高校駅伝女子の

部に2年連続出場の和歌山北、大阪府の近鉄花園ラグビー場で12月下旬からある「全国高校ラグビーフットボール大会」に4年連続出場の和歌山工業の生徒も出席した。決意表明で、田辺工業の都築主将は「初めての全国駅伝となるが、私たちを支援してくださった方々、県予選で戦った他校の選手の皆さんのことを忘れずに、感謝の気持ちをもち、やってきたことを信じて、全国の舞台でも全力で走り切ります」と宣言した。県教委の宮下和己教育長は「駅伝やラグビーは『つなぐ』意味では共通していて、和歌山の『和』の力が発揮される競技。新たな目標に向かって、どれだけ力を合わせられるか。素晴らしい成果を上げてください」と激励した。最後に選手団を代表し、田辺工業の水井翔哉副主将(2年)が「県代表チームとして自覚を持ち、監督や皆のまへの感謝の気持ちを忘れず、全力で頑張ります。応援をよろしくお願い致します」と謝辞を述べた。

述べて。田辺工業は、日高川町で11月3日にあった駅伝県大会で2時間9分38秒で初優勝し、全国大会出場を決めた。藤井歩監督は「いい時も悪い時も変わらず応援していただいた方々に、結果を通して感謝の思いを伝えたい」と話した。目標は20位以内、タイムは2時間8分未満という。都築主将、水井副主将以外



「全国高校駅伝競走大会」への決意を語る田辺工業の都築勇貴主将(29日、和歌山市で)

の田辺工業の選手は次の皆さん。3年―野村優作、重石卓哉▽2年―井濶光太、井濶翔太、中山友哉、清水友登、福本翔